

せんなん感染症情報 令和7年5月号

宮城県感染症発生動向調査 第14週～第17週より（令和7年3月31日～令和7年4月27日）

仙南保健所管内の全数報告疾病

- 1類感染症：報告なし
- 2類感染症：結核（確定例）男性1名
- 3類感染症：報告なし
- 4類感染症：報告なし
- 5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 男性1名

仙南保健所管内の感染症警報・注意報

第17週現在、警報、注意報はありません。

宮城県仙南保健所



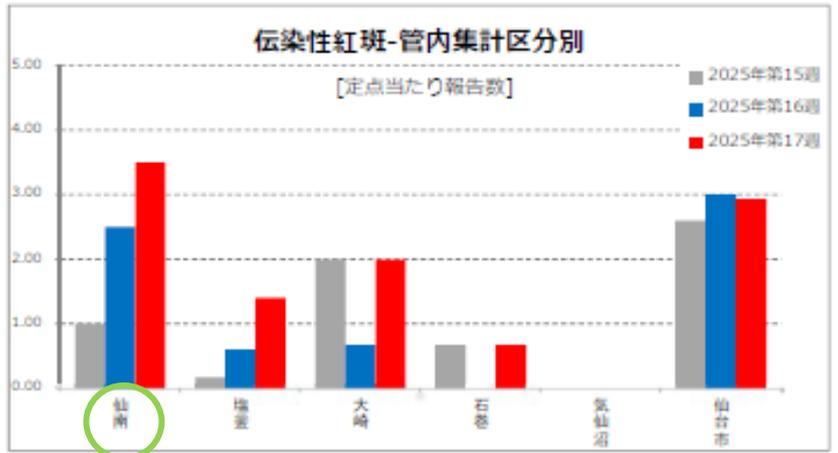
仙南保健所オリジナルキャラクター「てあらっこ」

～ 伝染性紅斑が増加しています ～

県全体では5週連続して定点当たりの患者報告数が増加しています。仙南管内でも定点当たりの患者報告数が多く警戒が必要です。

【伝染性紅斑とは・・・】

ヒトパルボウイルス B19 による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。特別な治療法や予防接種はありません。



【主な症状】

約10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発疹（紅斑）が現れます。続いて、体や手・足に網目状やレース状の発疹が広がります。これらの発疹は、通常1週間程度で消失します。

多くの場合、頬に発疹が出現する7～10日くらい前に、微熱やかぜのような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発疹が現れたときにはウイルスの排出量はほとんどなく、感染力もほぼ消失します。



10～20日の潜伏期間の後
微熱・かぜ に似た症状



ほっぺたがリンゴのように赤くなります（紅斑）

【感染経路】

感染した人の咳のしぶき（飛まつ）を吸い込むことによる感染（飛まつ感染）や、感染者と接触したりすることによる感染（接触感染）があります。

【感染予防】

こまめな手洗いや、咳エチケットを心がけることが大切です。

【妊娠中又は妊娠の可能性のある方へ】

これまで伝染性紅斑に感染したことがない女性が妊娠中に感染した場合、胎児水腫や流産のリスクとなる可能性があります。伝染性紅斑を疑う症状がある場合は医療機関に相談しましょう。感染していても症状が出ない場合もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は、妊婦健診の際に、医師に伝えてください。

宮城県感染症発生動向調査【週報】はこちらから



せんなん感染症情報はこちらから



● 御意見・御質問などは仙南保健所疾病対策班までお願いします
電話：0224-53-3121 FAX：0224-52-3678